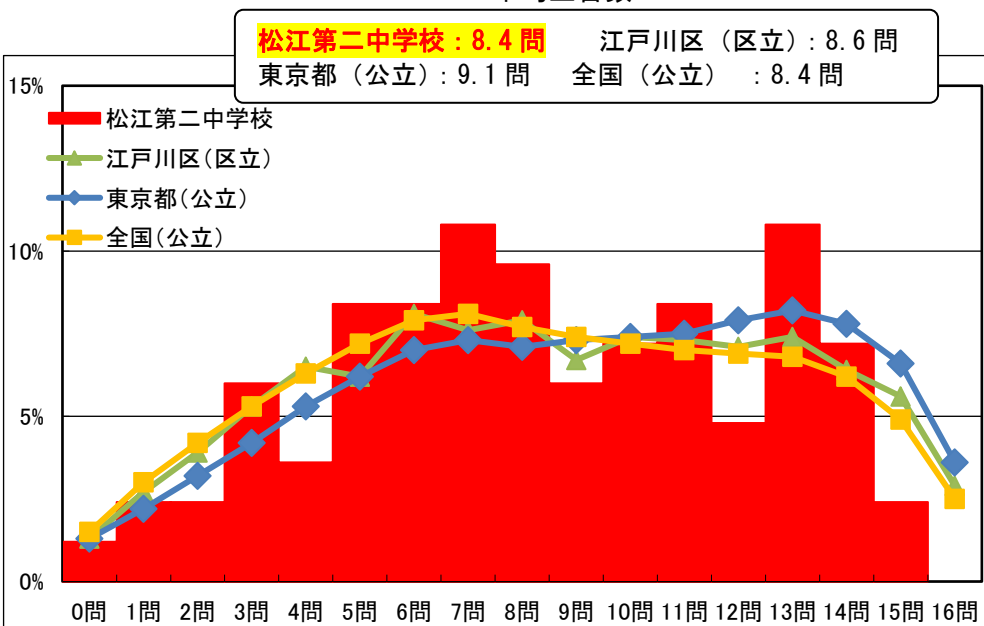


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【数学】 松江第二中学校

正答数分布

平均正答数

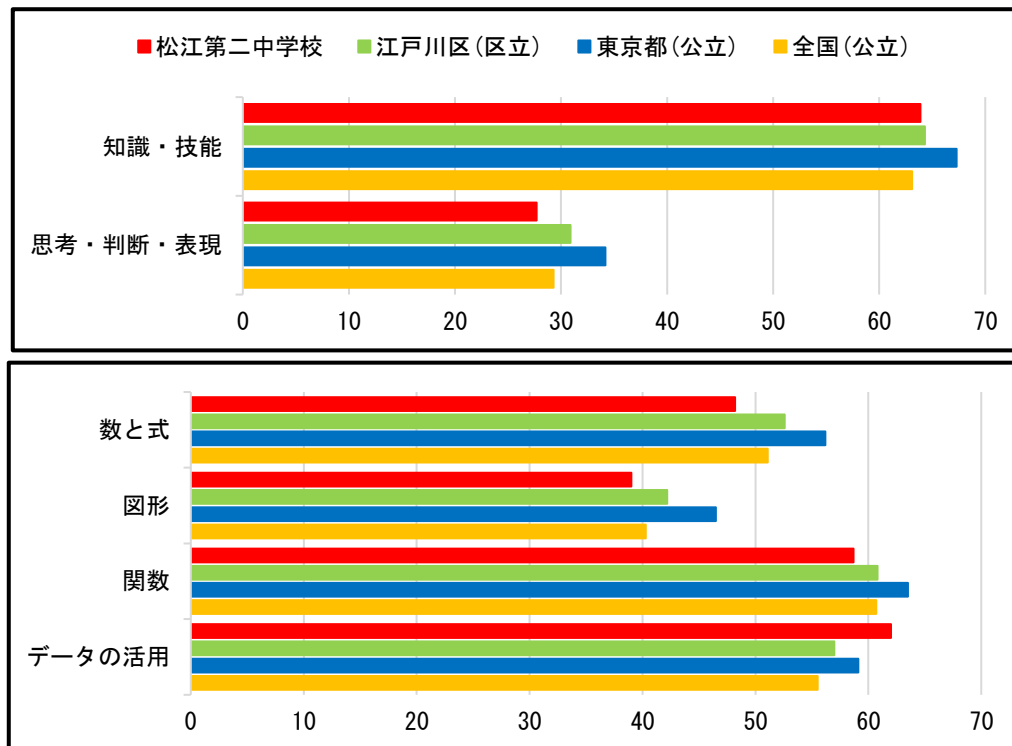


<四分位における割合(都全体の四分位による)>

数 学	上 位 ← 下 位			
	A層 13~16問	B層 9~12問	C層 6~8問	D層 0~5問
松江第二中学校	20.4	26.4	28.8	24.0
江戸川区(区立)	22.3	28.5	23.6	25.6
東京都(公立)	26.2	30.1	21.4	22.3
全国(公立)	20.4	28.5	23.7	27.4

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

松江第二中学校	53%
江戸川区(区立)	54%
東京都(公立)	57%
全国(公立)	52.5%
都との差	-4ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

領域別にみると、特に「数と式」・「図形」が区や都に比べて低くなっている。特にC層・D層に対する指導について、「数と式」については、授業内での小テスト実施や計算コンテストなどを継続して行い、基礎計算力の定着を粘り強く指導する。特に「できた」、「わかった」という成就感、達成感もてるような授業づくりを目指す。「図形」については、模型やICTを利用し、数学的活動を通して、楽しく学びながら図形の性質を学べるように授業改善する。